

館山総合高

時化のつらさ、航海乗りの切る

生徒14人
海洋実習

父島ではダイビングも



ダイビング実習をする生徒ら＝館山総合高校提供

館山総合高校(渡邊 培環境コースの3年生)9人が、16〜26日(嘉幸校長)の海洋科載5人と専攻科の1、2の間、実習船「千潮」(約4)に

乗って第一地(小笠原諸島父島で

次航海実習は、島内見学やダイ

ビングなどを行い、島の

魅力を満喫。ダイビン

グ実習では、クジラの

鳴き声が聞こえるなど

神秘的な体験もした

する知識や

技術を学ん

だ。父島出港の予定を

早めるなど、変更も

あったが26日、無事に

館山港へ入港した。

下船式で、各校の校

長らが出席する中、大

洋科学系列

原高校の海

が目的。

体験するこ

今回は、大

の8人も獲

乗した。

原の生徒が実習報告。館山総合3年の神澤翔(母さん)は「船が大きく揺れるなど、辛く感じたが、ダイビングでは貴重な経験をすることができた」と話した。館山総合では、5月6日に、生産コースの生徒10人を乗せ、第二航海実習に出港する予定。